

(一面) 目次

- ・平成30年度武庫地区人権啓発推進委員会総会と特別講演会 事務局
- ・就任挨拶 新会長 藤木芳博
- ・平成30年度事業計画 事務局
- ・視点 武庫中学校校長 前田裕司

(二面)

- ・人権について
尼崎人権啓発協会事務局長 三澤雅俊
- ・むこっ子ロード 会長 千木良昌彦
- ・連合育友会シリーズ①
南武庫之荘中学校 育友会 和田季子

武庫しののめ

武庫地区人権啓発推進委員会

尼崎市南武庫之荘 11丁目6番15号
尼崎市立地域総合センター南武庫之荘

電話・FAX 6438-5875

平成30年6月18日 武庫地区人権啓発推進委員会総会と 特別講演会が開催されました。

平成30年6月18日(月)、尼崎市武庫支所一階ホールで平成30年度武庫地区人権啓発推進委員会総会が開催され、武庫地区の人権啓発活動を最前線で担われる方々が出席されました。

総会終了後の特別講演会は、一般財団法人こどもサポート財団事務局長の小谷くにこさんをお招きして、「子どもが貧困と包括的な子ども支援ができるまちづくりについて」を開催しました。

講演では、現在の日本における子どもの貧困問題と、こどもサポート財団のネクスト子ども食堂の活動について、パワーポイント資料を交えて詳しく解説していただきました。



武庫地区人権啓発推進委員会 総会

上で、絶対的貧困と相対的貧困という視点が重要なこと、また子どもの貧困問題が自己責任ではなく、社会構造に起因することなどを力説され、小谷さんが実際に出席された子ども達の事例も取り上げられました。

金が用意出来ず、高校進学をあきらめかけている中学生などの事例が報告されました。



特別講演会

などの連携の必要性、また貧困にあえぐ子ども達を援助することが社会的な利益につながることも

当日は、早朝に大阪北部で地震が発生し、尼崎市内でも揺れが観測されました。多少の影響が出たものの、総会・講演会が中止されることはなく、盛況の中、無事に終了しました(参加者39名)。



藤木会長挨拶

および尼崎市からこのように事件が無くなることを強く願っています。そのために少しでも出来ることを来場者の方々に実行してまいります。

平成30年度 事業計画等を決定

総会は千木良会長の挨拶で始まり、来賓の紹介・挨拶などに続いて議事に入りました。まず第1号議案の「平成二十九年度事業報告」の承認に続き、第2号議案(「平成30・31年度役員体制」として、選出団体の役員交代などに伴い、藤木芳博さん(尼崎市社会福祉協議会武庫支部支部長)が新会長に、6名の副会長は、谷口武光さん(部落解放同盟南武庫之荘支部顧問)、阿部光子さん(武庫地区民生児童委員協議会副会長)、松田俊一郎さん(尼崎地区保護司会武庫分会分会長)、濱田格

子さん(武庫地区子ども会連絡協議会会長)、和田季子さん(武庫地区小・中学校連合育友会副会長)、津田剛生さん(尼崎市社会福祉協議会武庫支部副支部長)が選出されました。また前会長の千木良昌彦さんは相談役に新たに選出されました。最後に第3号議案「平成30年度事業計画」が提案どおり承認され、無事終了しました。

平成30年度の事業計画

平成30年度の事業計画としては、以下のものを計画しています。

- 人権問題講演会・研修会**
武庫地区人権啓発推進委員会の推進委員、協力委員、人権啓発リーダーを対象に実施します。
 - ・総会時、特別講演会(6月18日)
 - ・人権啓発リーダー研修会(7月11日)
 - ・各種団体別合同研修会(10月中旬、2月中旬)
- 人権週間の取り組み**
12月4日～10日までの1週間を「人権週間」として、様々な啓発活動に取り組みます。
 - ・啓発パネル、のぼりの設置
 - ・街頭啓発活動(阪急武庫之荘駅南北)
 - ・街頭啓発用チラシ袋詰め作業及び啓発ビデオ鑑賞
 - ・人権問題講演会
- 市民啓発紙『武庫しののめ』の発行**
武庫地区人権啓発推進委員会の事業や人権啓発に係る記事・情報を、武庫地区管内に新聞折込等で配布します。
 - ・年2回発行(9月、3月)

視点

不易流行

いま、社会は大きく変化してきている。グローバル化、情報化など子ども達を取り巻く環境の変化はとて速く、将来は職業の在り方も様変わりしている。可能性が高いと言われている。社会の変化に伴い、学校教育においても小学校における英語教育の導入やアクティブ・ラーニング、ICT機器を活用しての授業など、従来の一斉授業からは大きく変化してきている。

しかしながら、子ども達を育てていくのに変わらず大切にしたいことがある。

「考える心」
「我慢する心」
「感謝する心」

を育んでいきたい。20年以上前に、わが子がお世話になった保育園の方針であった。10年後の社会の変化が予想できないからこそ、自ら考え、判断し、主体的に行動するための「考える心」が必要であり、思うようにことが進まないときに、じっくりと構え、腰をすえて取り組んでいく「我慢する心」が大切である。そして、AIや自動化が進んだ世の中になっても、人と人との繋がりを大切にし、協力し合い、周りの人への思いやりや「感謝する心」をもった豊かな人間性を育てていくために、今後も時間をかけ、愛情を注ぎ、家庭や地域とも協力しながら子ども達の成長を見守っていきたくと考えている。

(前田 裕司)



子どもの人権 傷つく子どもの脳

先日、「子どもの虐待」をテーマにしたお話を聞く機会がありました。講師の先生から、暴力や暴言など親のマルトリートメント(不適切なかわり)は子どもの脳を傷つけるという研究をしている小児神経外科医の友田明美さんの研究成果を紹介されています。友田さんは、アメリカ留学中に約2千人の一般市民や学生から子どもの頃の体験を聞き取り、「性的虐待だけを受けた」「親からの暴言だけを経験した」などのグループを抽出し、彼らの脳をMRIを使って調べ、虐待を受けたという人たちと比べてみたというのです。その結果、厳



しい体罰を受けた人は、学びや記憶にかかわる「前頭前野」が委縮し、感情や思考力にわかかわる部分も小さくなっていた。暴言を受けた人は、コミュニケーションのカギを握る「視覚野」が変形しており、言葉の暴力は身体的な暴力より脳へのダメージがはるかに大きいことがわかった。家庭内暴力(DV)を目撃した人と性的虐待を受けた人も「視覚野」が縮小しており、見たくない情景の

詳細を見ないで済むようにと適応が行われると考えられるとのこと。人間の脳は生まれたときは300gですが、さまざまな体験をして成熟していきま

す。その大切な時期に、強いストレスがかかると、強みを回避しようとするかのよう

に脳が変形していきます。その脳の傷によって、後に暴力的になったり、感情を抑制できなくなったり、人間関係がうまくとれなくなったり、薬物依存やうつなどになりやすくなるそうです。暴力はもちろんです。が、「こんなこともできないのか？」「産まなきゃよかった」などとおとしめた

り、侮辱したりする言葉や、スマホを与えっぱなしにしたり、自分がスマホを見て子どもをほったらかしにするのもマルトリートメント。ながら育児は、その時は良くても脳が変形し、後でしつぺ返しが来ます。子育て真つ最中の親御さんは、子どものために良かれと思ってやってしまっている言葉の暴力や体罰などのマルトリートメントは、子どもの脳を傷つけるということが理解しておくことが大事だとのこと。最後に講師から、虐待の無い社会をつくるには

- ①子どもの権利を意識すること
- ②養育が困難な子どもを公的責任で育てる意識や体制の充実
- ③親が頼り合える仕組みづくり

などの提起があり、考えさせられた一日でした。

(三澤 雅俊)

憩いの空間 むこっ子ロード



尼崎市が、関西で『本当に住みやすい街1位』に選ばれたそうです。喜ばしいことです。特に武庫地区は環境の素晴らしいところ。す。

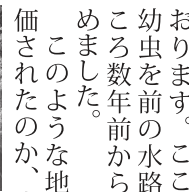


また武庫小学校の一面を花壇にし、ベンチを設け、東屋を作り、通学の子どものお買物のお年寄りの方にホッとする場所を提供しておりま

もっと私たちはこの素晴らしい空間を有効に活用しなければいけません。そこで、むこっ子ロード(武庫中学校と武庫小学校の間を通る道路)では、この道をもっと潤いのある素敵な場所にする



また武庫小学校の一面を花壇にし、ベンチを設け、東屋を作り、通学の子どものお買物のお年寄りの方にホッとする場所を提供しておりま

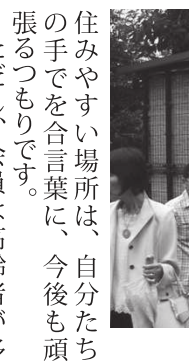


また武庫小学校の一面を花壇にし、ベンチを設け、東屋を作り、通学の子どものお買物のお年寄りの方にホッとする場所を提供しておりま



また武庫小学校の一面を花壇にし、ベンチを設け、東屋を作り、通学の子どものお買物のお年寄りの方にホッとする場所を提供しておりま

また武庫小学校の一面を花壇にし、ベンチを設け、東屋を作り、通学の子どものお買物のお年寄りの方にホッとする場所を提供しておりま



ホテル 武庫

こども食堂

緑を見ながらいただきます

お子さまにはワンプレートの日も!

ご飯の後に遊ぶスペースもあります

連合育友会シリーズ① 南武庫之荘中学校 校区

2つのこども食堂が始まりました!

地域総合センター南武庫之荘

かつて食卓は家族が集まり、コミュニケーションを交わしながら社会のマナーを教わる場でもありました。

近年核家族化は止まらず、生活も多様化する中、孤食(一人ぼっちでの食事)や、個食(一人ひとりが食べる食卓)といった言葉まで生まれ、解決される課題として挙げられています。

その役割を担うべく『居場所づくり』また『異世代交流の場』をコンセプトとしたこども食堂は、子ども達だけでなく、あなたにも足を運んでいただける笑顔あふれる場を提供して下さって

・なかよし食堂(昼食) 第2・4土曜日開催
ボランティア募集中 (問・06-6438-5875)

・にじの子ども食堂(夕食) 第3水曜日開催 (問・06-4962-4920)

・中学生以下は無料、高校生以上は300円(共通です)

南武庫之荘中学校育友会 (和田 季子)